

## 保育行政上の基礎的エリアについて

### 1 パブリック・コメントで寄せられた意見の概要

- ① 今後、市内の乳幼児と高齢者の交流をはかっていくことの重要性は、保育検討協議会でも議論されたことなので、それは理解できます。しかし、現在4つのエリアで地域子育て支援を行っていることも考えると、エリアを区分しなおすことで、今までの流れから大きく変更が生じることへの不都合もあるのではないのでしょうか。今後、府中の子育て環境に関して、きめ細かく整えていくことを保育行政の課題とするのなら、このエリア区分についても、就学前児童数の町別分布や、子育て世帯の異動等、さまざまな角度からの増減予測をふまえて、よりきめ細かい視点から、十分に検討すべきではないのでしょうか。
- ② 多世代での交流はどのようなエリア区分でも難しくないので、市立保育所に預けたいと思う親にとって、6か所しか選択肢がないのは大変不便です。(他1件)
- ③ これからの公立保育所は通常保育のみならず、在宅支援も担うのであれば、十二分に住居地からの距離・住民数、それらを考慮した上の公立保育所数の必要性を感じます。たとえば船橋市においては基幹保育所6、それ以外の公立をサテライト園としてサポートに位置付け、各エリアから1つずつ減らして、半数以下にはならないような措置をはかっています。
- ④ 子どもと一緒に親の交通手段は、徒歩か自転車に限られます。そしてそれが遠ければ、その基幹保育所でどんなに良い保育サービスがあろうが参加できません。保育分野独自で、徒歩圏内という事を念頭においた新しいブロック分けを希望します。個人的には中学校区(11)を希望します。

### 2 市の考え方

昨年度の保育検討協議会による報告(ネットワークの構築にあたっては、(略)、既存の高齢者支援に関するネットワークとの連携の視点をもつことも重要)を踏まえ、高齢者福祉に関する計画などを包括する「府中市福祉計画」に定める「6つの福祉エリア」に基づきエリアの区分を行っております。

近隣多摩25市のうち、本市より就学前児童人口が多く、民間活力の導入等に併せ、市立保育所(公設公営)において「子育て支援機能強化」など類似の取組を進めていると考えられる自治体(八王子市及び町田市)との比較は次のとおりです。

【他市比較表】

区分	府中市	八王子市	町田市
市立保育所(公設公営)数 : a ※1 (施設数)	6	10	7 ※2
就学前児童数 : b ※2 (人)	13,821	26,963	21,282
1施設あたりの児童数 : b/a	2,304	2,696	3,040
市の面積 : d (Km <sup>2</sup> )	29.34	186.31	71.63
1施設あたりの面積 : d/a	4.89	18.63	10.23

※1:府中市は、基本方針(案)に基づく施設数、他市は平成25年4月現在の施設数

※2:町田市は将来的に7施設から5施設へ再編予定

※3:就学前児童人口は、東京都総務局発行「住民基本台帳による東京都の世帯と人口(平成25年1月1日現在)」による。(外国人登録数は含まない)

この比較の結果より、本市の将来的な施設数(公設公営)は、地理的観点や量的観点においても少なくないものと考えており、また在宅子育て支援等の事業についても該他市において適切に運営されていることを確認しています。

なお、将来的にも「基幹保育所」をはじめとする子育て支援関連施設が、エリア内に所在する児童だけを対象とするとはございませんので、比較して狭小な面積に施設が多数集積する本市のメリットを最大限に活かしつつ、施設間の相互連携の強化を通じて、全ての子ども達に対する支援に努めてまいります。